

# 助成事業報告

Good!

## ★ぱすてる車両購入

「赤い羽根共同募金」の島根共同募金会より助成頂き、放課後等デイサービスぱすてるで公用車を購入しました。多くの方のお力で成り立つ助成事業に、心より感謝申し上げます。車に乗るのが大好きな児童さん達の、活動や送迎で大いに活躍しております。本当にありがとうございました。



## ★持田寮北棟浴室改修

この度、(公財)車両競技公益資金記念財団より助成を頂き、持田寮北棟浴室の改修工事を行いました。介護浴に適した浴槽や各所手すりの設置により転倒等の事故防止につながる他、浴室内冷暖房完備によりヒートショックの心配が軽減されました。利用者様からは、「広くて良い」「掴まるところがあって良い」「快適」「お風呂が楽しい」などと好評頂いています。助成を頂き、誠にありがとうございました。



## 苦情や要望の受付・解決への取り組み報告 (令和3年4月～令和3年9月)

下記内容にて、申し出を受け、解決に向け、取り組みや話し合いを行いました。

●フレンド  
(ご本人から)  
職員と雑談をしている時に友人の話題となり、伝えたことに対して冗談で返され、とても不愉快な思いをした。また、別の時の話として名前だけでなく別の呼び方をされる事があった。他に作業が終わり、帰宅の報告をした際の職員の反応としての所作が「帰れ」と言うようにされたように感じ、不快だった。

今後も真摯に対応していきたいと考えますのでお気軽にお申し付けください。なお、法人内、各事業所の苦情受付窓口以外に下記にご相談頂くこともできます。

千鳥福祉会苦情解決第三者委員  
京 俊輔 氏 (島根大学人間科学部 准教授) TEL0852-32-6239  
足立 孝子 氏 (島根大学人間科学部 助教) TEL0852-32-9051  
島根県施設運営適正化委員会 TEL0852-32-5913

## 利用者みなさんの「声」受け付け報告 (令和3年4月～令和3年9月)

当法人では、利用者みなさんから上がるいろいろな相談、その「声」に耳を傾け、利用者みなさんの立場に立った支援をしていきたいと考えています。

全体的な傾向として、自立度の高い方が利用される事業所の方から多くの意見を頂いています。さらには、利用者自治会の機会等に一度に多数の意見が寄せられるようです。

各事業所により、利用対象者やサービス提供形態が異なるため、一律の取り組みとはなりにくいですが、各事業所がそれぞれに工夫して「声」に耳を傾け、相談に応じていきたいと思っております。

	利用者みなさまより	ご家族みなさまより (世話人含む)
持田寮	50	3
ういんぐ	70	28
フレンド	43	22
ぱすてる・ぱすてるびいす	33	8
共同生活	26	4
大空	7	8

Leaving  
Care News  
2021.10.01 No.140



〒690-0814 松江市東持田町1415  
社会福祉法人 千鳥福祉会  
TEL0852-24-8820(代)FAX0852-24-8825  
障がい者支援施設 持田寮  
多機能型事業所 L.C.C.ういんぐ  
ワークセンターフレンド  
共同生活援助事業所つばきの里  
居宅介護等事業所千鳥福祉会ケアセンター大空  
相談支援事業所 ひまわり  
放課後等デイサービスぱすてる・ぱすてるびいす  
URL <http://www.tidori.org/>  
E-mail [chidorifukushikai@luck.ocn.ne.jp](mailto:chidorifukushikai@luck.ocn.ne.jp)



## 想い実る秋によせて...

東京オリンピック・パラリンピックも終わり、秋を感じる日々になりました。賛否ある中での開催も、満席を感じる放映の工夫や選手の皆さんの汗と涙あふれる全力投球の姿は、またとない学びの機会になりました。

オリンピックの場に立つ…自分の力を信じて「夢」「命」「魂」を懸けて…更にパラリンピックでは、失った辛さを乗り越え「残された自分の力」「夢」「命」「魂」を懸けて挑戦し続ける…その姿に涙しました。どうすればあのエネルギーを保持できるのだろう…小さな出来事にもへこたれがちな日々を猛反省です。

苦難の中で、大きな企画に関わってこられた方々に労いの言葉を伝えたいと思いますし、我々もどんな苦難でも乗り越えるべく背筋を伸ばして努力したいと思いました。

今、社会福祉法人は共生地域社会実現の中心的役割を担うべきであるという声を聴きます。2040年に訪れる過去最多の人口減少対策が具体化できる事を目指して進みます。

その基盤づくりは地域の皆さんとの連携です。先のアンケートで頂いた機関誌・法人への貴重なご意見を大切に、事業運営に活かします。

また、持田公民館様との交流も深まりつつあります。持田の歌「ふるさとで咲こう」には法人職員によるバンド「千鳥足」がお手伝いをさせて頂きました。地域の皆さんと一緒に咲いて優しい地域を創りたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

千鳥福祉会  
理事長 山本昌子



## L.C.C.ういんぐ新建屋建設にあたって

このたび L.C.C. ういんぐが移転新築工事を実施する事になりました。新築建屋におきましては利用者様の年齢層や障がい特性に応じた空間活用ができるよう配慮した設計を心掛けました。新築 L.C.C. ういんぐが利用者様の安全・安心はもちろん、通う事が楽しいと感じてもらえる建物となる事を望んでいます。令和4年度に新設建物ができるよう10月1日に安全祈願祭を終え、建設工事がはじまりました。



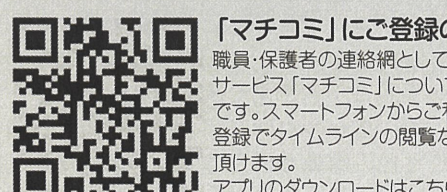
(完成イメージ図)

「Facebook」や「マチコミ」では、日常の様々な活動や情報がご覧いただけます。



「Facebook」  
法人のFacebookページを情報発信委員会で運営しております。  
<<https://www.facebook.com/chidorifukushikai1415/>>  
事業所での日々の様子を、SNSでより身近にお伝えできるよう頑張りますので、よろしくお願ひします!(フォローやリアクション頂けると大変喜びます!)

千鳥福祉会ホームページ  
URL <http://www.tidori.org/>  
E-mail [chidorifukushikai@luck.ocn.ne.jp](mailto:chidorifukushikai@luck.ocn.ne.jp)



「マチコミ」にご登録の皆様へ  
職員・保護者の連絡網として導入したメール配信サービス「マチコミ」について、アプリ版のご案内です。スマートフォンからご利用の場合は、アプリ登録でタイムラインの閲覧などより便利にお使い頂けます。  
アプリのダウンロードはこちらから。  
<※もしくは各ストアから「マチコミ」で検索。>  
詳細は各事業所の情報発信委員までお気軽にお問い合わせください。

編集/情報発信委員会

- 江指 裕嗣
- 津田 真治
- 森廣 奈未
- 竹内 朋宏
- 三原 恵美
- 谷口もも香
- 日野 裕美
- 植尾 佳代

# 身近に迫った災害

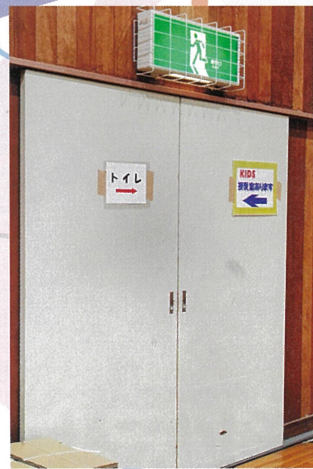


## グループホーム 豪雨被災報告

7月12日の豪雨により、グループホーム・小山アパート付近は田んぼも水に浸かり、周辺一帯が湖のようになり、小山アパートも床上浸水の被害に遭いました。幸い、利用者様は日中活動に出ておられたので身の危険はありませんでした。その日から緊急避難として持田寮で入浴、就寝、食事の提供もしてもらいましたが、

朝夕は変わらず GH 職員が付き添い、不自由な生活が少しでも快適に過ごせるよう支援を行いました。早く小山に戻れるよう他事業所からも応援を頂き、片付け・掃除を行い2階居住者の方には戻って頂き、1階の浸水した部屋のお2人は、1人は2階の空室へ、1人は別 GH へ移動して頂きました。

利用者様も慣れない環境での生活をしながら、今後の不安があったことと思いますが、小山へ戻ってからは元の雰囲気に戻るまで時間は掛かりませんでした。まだ別 GH で生活されている方もありますが、今は工事も進んでおり、新たに皆様揃って生活できることを楽しみにしております。(共同生活・谷口)



## 一時避難所を開設

7月12日(月)、近年にない豪雨の為に、平成ニュータウン南側の坂下は水が溢れ、まるで川のようになっていました。

道が通れず身動きもとれなくなる中、法人では急遽ういんぐ体育館を避難所として開放、送迎で来ていた保護者様や、近隣住民の方を施設内で受け入れることにしました。

避難者は乳幼児を含む5世帯12名。豪雨の中での避難でしたので荷物は必要最低限、小さなお子様連れの方は慣れない環境下での長時間の滞在で、不安や不便さを感じられたでしょう。コロナ対策として密にならない空間作りの他授乳室の設置や飲み物・食事を提供するなど、出来る限りの対応を致しましたが、初めてのことで十分には至りませんでした。

幸いにして雨は日中のうちにあがり、夕方には水が引きましたが、長引けばどうなっていたことかと恐ろしくなります。

あらゆる状況を予測し、物資の確保や対策をすることで、地域の安心・安全の拠点となれるよう今後とも努めて参ります。(総務部・森脇)

## 「避難行動要支援者・個別避難計画実務研修」参加報告

8月24日、県主催の標記研修に参加しました。災害対策基本法改正後の新しい研修で、参加者は市町村等の行政職員、専門職である相談支援専門員等でした。

昨今の自然災害の頻発化に伴い、避難の遅れにより尊い人命が失われたという報道も増えております。2018年の西日本豪雨は記憶に新しいところですが、当時、倉敷市真備町の死者51名のうち実に42名が避難行動要支援者だったとのお話でした。

こうした中、災害対策基本法改正が行われました。地域で在宅生活を送られている要支援者の皆さんが災害時、馴染みの支援者に助けを求めることは現実的ではありません。そのため、平時の支援者と地元自治会の皆さんとの協働により、災害時のケアプランを作成すること。また避難訓練等を通じて、自治会の皆さんとのつながりを構築していくこと。これらの指針が示されました。

個別避難計画の作成を主導していく市町村も今、初めてスタートラインに着いた状態ですので、即時作成に着手するというわけには行きませんが、徐々に「誰一人取り残さない防災」が動き始めました。また、新しい情報をキャッチできた時にはお知らせをして行けたらと考えています。(ひまわり・江指)



## 親子陶芸体験

7月30日、大東町・竹翠寮の齋藤様に来て頂き、親子陶芸体験を行いました。年に3~4回行なってきた親子活動も感染症予防の為中止が続き、実に久しぶりの開催です。利用児童さんとそのご家族の方が集い、一人ひとりの土からカップ、皿、置き物等、思い思いの作品を仕上げられました。後半はボディーパーカッションの発表、遊びの時間でも家族と一緒に過ごされ、笑い声と笑顔が飛び交いました。これからもその時々状況に合わせてながら、ご家族や地域の方との交流の場が持てる活動を企画していきたいと思っております。(ぱすてる・松尾)

## 花火大会

お盆恒例の花火大会。今年も色鮮やかな光の花が咲きました。

## 秋祭り



みんなで作り上げた持田寮秋祭り。景気よくお神輿を担いで練り歩き、屋台や縁日で存分に祭り気分を満喫。今年の目玉はお化け屋敷。お化けに出くわし悲鳴をあげるも、慣れ親しんだ職員と知り、ほっと一安心。活気と笑顔に満ちた一日となりました。(持田寮・津田)

# 日中事業から近況のご報告

## 好き・得意を活かして

L.C.C. ういんぐでは生活介護利用者様のメニュー提案として、自分だけの自立課題の制作を行なっています。自立課題は利用者様の持っておられる力を引き出すため、興味関心を活かし、職員が介入することなく、「自分だけでできた」という達成感や満足感を感じて頂けるよう工夫しています。

- 1さん~指先トレーニング  
ご本人の興味のある飲み物の写真を使い、指先のトレーニング。指先を使って洗濯ばさみを飲み物カードから外し、洗濯ばさみと飲み物カードを分けて入れているところです。紙質がペラペラのため初めはなかなか入らなかった飲み物カードでしたが、持ち方をご自分で考えられ、上手に入れる事が出来るようになりました。終わると「できた」と笑顔で報告されます。
- 宮本真澄さん~リング仕分け  
はじめに、ペットボトルを立てるところから始めます。揺れるとすぐに倒れるため、マジックテープを底に貼る事で、倒れにくくなりました。いろんな色、物を色ごとに仕分けする事が好きなのでリングは形が2種類、色は5種類用意しています。形と色の認識と指先のトレーニング。リングの数が多くありますが、集中して最後まで楽しんで取り組まれています。(ういんぐ・勝部)

## 清掃業務への取り組み



フレンドの作業はクリーニングを中心としていますが、クリーニング以外の作業メニューとして地域での清掃業務や、ビジネスホテルのベッドメイクを請け負っており、利用者の皆様に取り組んで頂いています。その中でも今回は清掃業務についてご紹介したいと思います。

清掃のお仕事は、松江市内で契約しているビルと、公衆トイレの清掃へ決められた曜日に出かけています。出発時間が近づくとメンバーの皆さんが玄関口に清掃道具を準備され、手分けて車に積み込み、現地に到着するとやはり皆さんで道具を運び、各自が自分の役割に必要なホウキやブラシ、洗剤などを手に掃除を開始されます。トイレでは一般の方が「使っても良いですか?」と尋ねて来られる事もよくありますが、声を掛けられた利用者さんは「どうぞ!」と明るく答えて使って頂いたりもしています。

汚れ方によって各自の進み具合が変わってきますが、早く済まされた方は遅れている方の手伝いに回られたり、道具の片付けをされるなど皆さんが協力し合い、それぞれ責任を持って取り組んでおられます。(フレンド・人見)